

平成20年度第8回岐阜県事業評価監視委員会

【都市再生総合整備事業（総合整備型）再評価審議資料】
（事業主体岐阜市）

○ 岐阜県事業評価監視委員会への審議依頼について1
○ 再評価対象箇所一覧表2
○ 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について	
都市再生総合整備事業（総合整備型）3
○ 平成20年度 再評価実施箇所（附図）	
都市再生総合整備事業（総合整備型）【岐阜駅周辺地区】4
○ パワーポイント	
都市再生総合整備事業（総合整備型）【岐阜駅周辺地区】5～9

(別記様式1)

岐阜市建駅第68号

平成20年9月4日

岐阜県知事 古田 肇 様

岐阜市長 細江 茂光



岐阜県事業評価監視委員会への審議依頼について

本市が実施しております下記事業の再評価において、再評価結果に基づく対応方針の決定にあたり、第三者の意見を求める必要がありますので、岐阜県事業評価監視委員会（以下「委員会」という。）設置要綱第8条並びに委員会運営要領第4の1の規定により、関係資料を添えて委員会での審議を依頼いたします。

記

1. 審議対象事業

- ・事業名 都市再生総合整備事業（総合整備型）
- ・特定地区 岐阜駅周辺地区
- ・再評価の要件 事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業

2. 当市で事業評価監視委員会を設置できない理由

岐阜市では都市再生総合整備事業に精通した学識経験者の選任が困難であるうえ、再評価を必要とする他の同種の事業もないことから、委員会設置ができないため。

3. 県の事業担当課名

都市建築部街路公園課

平成20年度 再評価対象箇所一覧表 1月30日審議箇所
 [都市建設部街路公園課]

「 都市再生総合整備事業」																							
番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択 年度	完了 予定 年度	事業 概 要			全体事業費 (百万円)		実施済み額 (百万円)		進捗率 (%)		経過年数 (※20.3現在)	地元の意向	関連事業の 進捗状況	社会経済 情勢等の 変化	環境との調 和への配慮 事項	事業費縮減	費用対効果 分析	対応方針 (案)	特記事項
						全体事業量	実施済事業量	事業実 施率	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等											
1	都市再生総合 整備事業(総合 整備型) 【旧 都市再 構築総合支援 事業】	岐阜駅周辺 地区	岐阜市	H11	H24	歩行専用デッキ 3130㎡、465㎡ 駅舎前デッキ上屋 1340㎡ 他	歩行専用デッキ 2320㎡、289㎡ 駅舎前デッキ上屋 1340㎡ 他	81.9%	3,327	2,512	75.5%	9	事業継続、 早期完了の 要望がある	岐阜駅北口 土地区画整 理事業は H24完了に 向けて事業 実施中	岐阜駅周 辺地区の 民間開発 事業が活 発化して いる	岐阜駅周辺 民間開発と の景観調和 に配慮して いる	デッキ階段を 一部民間階段 と共同で利用 し公共階段を 不施工とする など約1億5千 万円縮減した	1.31	継続				

平成20年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
課： 街路公園課

○事業制度について	事業名	都市再生総合整備事業（総合整備型）	
	事業目的	歩行者のバリアフリー化と安全で快適な歩行者ネットワーク構築を図り、駅と駅、駅と街とを結び、交通機関の乗り継ぎ利便性の向上と回遊性を高め、再開発等を誘導する歩行者用デッキの整備等を行う。	
	採択基準	都市再生事業計画に基づき、重点地域内の都市構造の再編に必要な都市基盤施設として、特定地区内において先行的に整備するもの又は特定地区内で構想される面的整備及び拠点形成等の具体化を促進する公共施設の整備について採択される。	
	概要 (メニュー)	JR岐阜駅と名鉄岐阜駅、周辺街区を結ぶ歩行者用デッキの整備等により、歩行者空間の安全性ならびに快適性を向上させ、当地区全体の賑わいの向上を図る。 歩行者用デッキL=465m、駅舎前デッキ上屋A=1340㎡ 等	
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目	<ul style="list-style-type: none"> ・整備施設から直接的に生じる効果（内部効果） <ul style="list-style-type: none"> ・再開発ビル等の収益（地主・賃貸経営者等の収益性が向上） ・歩行者用デッキの整備による歩行者移動時間短縮 ・整備施設が存在が周辺に及ぼす効果（外部効果） <ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民・企業の利便性の向上 ・都市の再生・再構築の早期実現効果 <ul style="list-style-type: none"> ・民間投資の誘発効果
		その他項目	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前周辺の自動車交通の円滑化 ・安全・快適でバリアフリー化された歩行者空間の創出 ・駅周辺地区の活性化、今後のまちづくりへの寄与 ・良好な都市景観の形成 ・多様なライフスタイル・ワークスタイルの実現
	費用Cの算定	費用＝先行事業（都市再生総合整備事業による歩行者用デッキ等の整備にかかる費用） ＋先導される事業（市街地再開発事業等の整備にかかる費用） ＋施設の維持管理費用	
	費用便益比の基準	算定基準：都市再生総合整備事業及び市街地環境整備事業の新規採択時評価マニュアル案 費用便益分析1：都市再生総合整備事業（総合整備型）による先行工事で整備を行った場合 $B/C(1) \geq 1.0$ 費用便益分析2：通常事業で整備を行った場合 $B/C(1) > B/C(2)$	

平成20年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔街路公園課〕

番 号		事 業 名 (路線・河川名等)	都市再生総合整備事業（総合整備型） 岐阜駅周辺地区
事業実施箇所	岐阜市橋本町1丁目地内 ほか		事業主体 岐阜市
採択年度	平成11年度	完了予定年度	平成24年度
再評価の実施基準	事業採択後10年経過して継続中の事業		
事業目的	歩行者のバリアフリー化と安全で快適な歩行者ネットワーク構築を図り、駅と駅、駅と街とを結び、交通機関の乗り継ぎ利便性の向上と回遊性を高め、再開発等を誘導する歩行者用デッキの整備等を行う。		
事業概要	JR岐阜駅と名鉄岐阜駅、周辺街区を結ぶ歩行者用デッキの整備等により、歩行者空間の安全性ならびに快適性を向上させ、当地区全体の賑わいの向上を図る。 歩行者用デッキL=465m、駅舎前デッキ上屋A=1340㎡ 等		
概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>駅西デッキ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駅舎前デッキ上屋</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大岐阜ビル前デッキ</p> </div> </div> 		

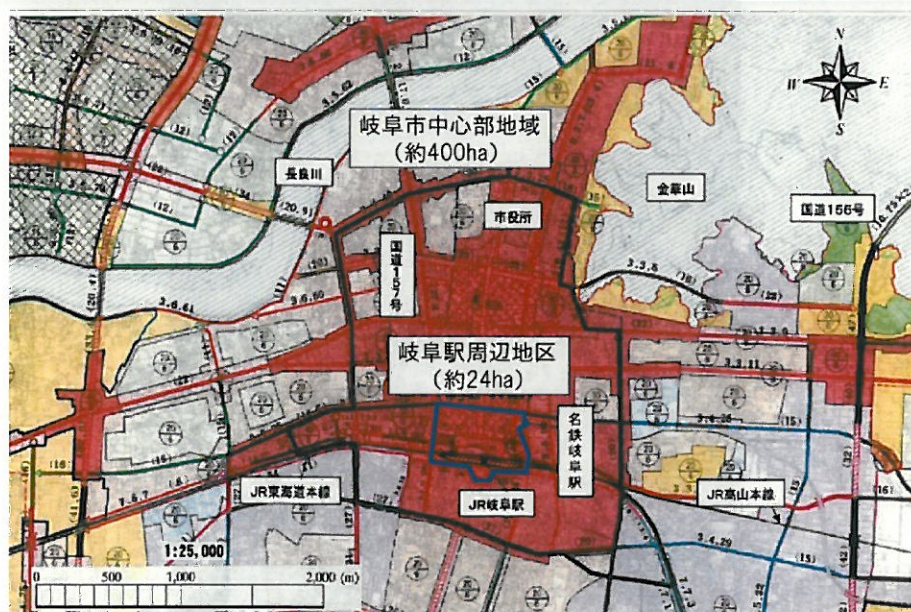
都市再生総合整備事業(総合整備型)
【旧 都市再構築総合支援事業】
(岐阜駅周辺地区)

事業再評価

岐阜市

平成21年1月

位置図・区域図



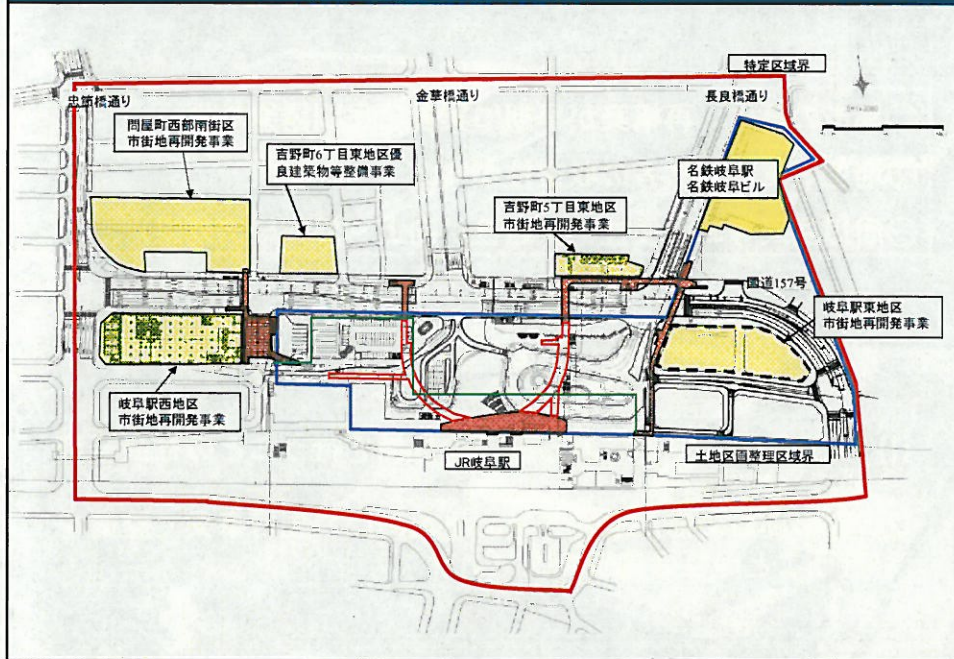
事業概要

	事業概要 (面積、延長、幅員等)	事業期間	事業費(百万円)	
				補助対象
基本計画策定調査		平成11年度～平成12年度	28.0	14.0
整備計画策定調査		平成13年度～平成13年度	60.0	30.0
コーディネート		平成13年度～平成15年度	38.0	19.0
都市基盤施設の整備 小計		平成14年度～平成24年度	2,753.0	1,376.5
東街区歩行者用デッキ	A=1005㎡、L=183m、W=3m(平均)	平成14年度～平成20年度	821.0	410.5
東街区歩行者用デッキ2	A=620㎡、L=146m、W=3m(平均)	平成20年度～平成24年度	394.0	197.0
西街区歩行者用デッキ	A=315㎡、L=66m、W=3m(平均)	平成17年度～平成18年度	225.6	112.8
西街区歩行者用デッキ2	A=1000㎡、L=40m、W=25m(平均)	平成16年度～平成18年度	459.4	229.7
西街区歩行者用デッキ3	A=190㎡、L=30m、W=4m(平均)	平成19年度～平成22年度	177.0	88.5
駅舎前デッキ上屋	A=1340㎡、L=95.8m、W=17.5m(平均)	平成19年度～平成19年度	550.0	275.0
駅舎出入口(デッキ接続部)	N=2箇所	平成19年度～平成19年度	50.0	25.0
駅前広場 緑化施設及びサイン等	緑化施設 N=1式 サイン N=1式 他	平成20年度～平成20年度	76.0	38.0
旧駅ビルテナント移転補償		平成14年度～平成14年度	448.0	224.0
総計		平成11年度～平成24年度	3,327.0	1,663.5

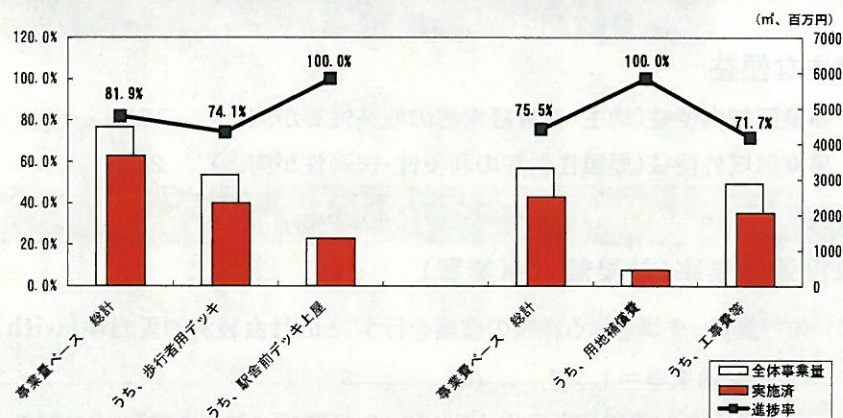
事業概要写真



事業概要図



事業の進捗状況



	全体事業量	実施済	進捗率
事業量ベース	4,470㎡ 他	3,660㎡ 他	81.9%
歩行者用デッキ	3,130㎡ (465m)	2,320㎡ (289m)	74.1%
駅舎前デッキ上屋	1,340㎡ 他	1,340㎡ 他	100.0%
事業費ベース (百万円)	3,327	2,512	75.5%
用地補償費	448	448	100.0%
工事費等	2,879	2,064	71.7%

事業の効果とその評価

- 都市の再生・再構築が早期に実現（民間誘発効果）
- 地主・賃貸経営者の収益性が向上
- 周辺住民等の利便性・快適性が向上（外部経済効果）

- (1) 先行施設、先導される施設の整備を行うことの社会経済的妥当性 (with)
- (2) 都市拠点の形成過程を早めるために、先行事業で整備を行うことの社会的妥当性 (with')

費用便益分析

■主な便益

- ・事業区域内便益(地主・賃貸経営者の収益性等が向上) 75%
- ・事業区域外便益(周辺住民等の利便性・快適性が向上) 25%

■投資効果率(効果額／事業費)

- (1) 先行施設、先導される施設の整備を行うことの社会経済的妥当性 (with)

$$\text{投資効果率} = 1.31 \dots (a)$$

- (2) 都市拠点の形成過程を早めるために、先行事業で整備を行うことの社会的妥当性 (with')

$$\text{投資効果率} = 1.30 \dots (b) \quad (a) > (b)$$

対 応 方 針

○投資効果率が1.0を超えており、かつ、先行事業で整備を行うことの社会的妥当性が認められる。

○地元住民等が事業継続・早期完了を強く要望している。

○都市再生総合整備事業との一体的整備がなされている岐阜駅北口土地区画整理事業は、平成24年度完了に向けて事業推進中である。

○都市再生総合整備事業の周辺地区では、大規模な市街地再開発事業を初めとして、民間の開発事業が活発化しており、岐阜県の玄関口として駅周辺の賑わいの創出が期待できる



社会的な観点からみて事業を継続することが妥当